

洞爺湖町花と緑の町づくり推進委員会 町を彩るハンギングバスケット製作

北海道
洞爺湖サミットを、花で彩りもてなそうと結成された洞爺湖町花と緑の町づくり



ハンギングバスケットを製作する皆さん

くり推進委員会が、5月26日、入江にある緑化ハウスで、町内に飾るハンギングバスケットの製作を行いました。

これまでは、恵庭市に向き製作し、業者に養生してもらっていましたが、今年は地元住民で、製作・養生を行うことになり、約20人が参加しました。

その後3週間養生し、6月21日、22日の2日間かけて、洞爺湖温泉街のメインストリートやイルミネーションストリート、JR洞爺駅前広場に飾りつけられました。

5月28日第29回北海道小学生陸上記録会室蘭会場が、入江競技場で開かれ、新谷陸上クラブの原美智さん(虻小5年)と橋本吏功さん(虻小4年)が、好成績を挙げ全道大会への切符を手に入れました。

小学女子5年100メートルに出場した原さんは2位、小学男子4年ソフトボールに出場した橋本くんは、3位の成績をそれぞれ残しました。

7月17日函館市で開催される全道大会を前にして、原さんは「予選を突破して決勝に進出したい」。橋本さんは

「自分の記録を伸ばしたい」と目標を話してくれました。



全道大会へ出場する原美智さん(右)と橋本吏功さん

虻小児童室蘭陸上記録会で好成績 函館の全道大会への切符を手にする

4月9日、洞爺湖町と「ほっかいどう企業の森林づくり」協定を締結したNECソフトウェア北海道が、5月28日「見晴らしの森」と名づけた、泉にある町有林で植樹を行い、アオダモ400本を植えました。植樹祭には、同社社員や家族、町、胆振総合振興局関係者約90人が参加。

同社は、今後5年間に泉の町有地にアオダモ、アカエゾマツを2,000本植樹する計画です。

参加者は、噴火湾を一望できる高台で楽しみながら土をスコップで掘り起こし、丁寧に植樹していました。



植樹を楽しむ親子づれ

町と民間企業が森づくりで協定 締結後初の植樹アオダモ400本

野外彫刻を長く楽しめるよう ぐるっと彫刻公園清掃

5月29日、教育委員会が主催して、「とうや湖ぐるっと彫刻公園」の彫刻清

掃を行いました。親子連れなど約20人が参加して、風雨などで汚れた彫刻をびかびかに磨き上げました。

洞爺湖畔には、「生への讃歌」をテーマにした58基の野外彫刻作品がありますが、気温差や風雨、埃、結露などで劣化しやすくなっています。

参加者は、3グループに分かれて出発。ブラシや雑巾などを使って、「野外彫刻を長く楽しめるよう」にとの願いを込めながら、冬の間にとまった埃や汚れを落とし、周りの落ち葉も取り除いていました。



彫刻をきれいに磨く参加者

まちのわだい